

1枚の作成で複数台数の申請が可能です。(1台につき1枚ずつの作成はしなくてよい)
2台以上の複数台数を申請する場合は合計の台数を記載してください。

事業計画書

申請者(補助事業者) 神奈川 太郎

1 購入するロボットの概要

製造元	株式会社〇〇	交付要綱別表2に記載のとおり、記入してください
ロボットの銘柄(型番等)	〇〇ロボット (XXROBOT)	
台数	2台	

2 補助金の額の算出 (単位:円)

経費の配分	金額(税抜)
ロボット本体価格(A) (※1)	140,000
付属品等の価格(B) (※2)	10,000
工事費用(C) (※3)	0
介護保険給付額(D) (※4)	
補助対象経費(E)=(A)+(B)+(C)-(D)	150,000
補助対象経費の3分の1の額(千円未満切り捨て) (F)=(E)×1/3	50,000

本体価格(A)、付属品等の価格(B)、工事費用(C)が、ロボット代金見積書(第1号様式別紙2)と一致しているかご確認ください。(ただし、※1の下線部の場合を除く)

3分の1にしたとき、千円未満の端数が出た場合は、切り捨ててください。
(例:160,000円÷3=53,333⇒「53,000」を記入)

- (※1) ロボット導入代金見積書(第1号様式別紙2)の(A)の額。ただし、補助対象のロボットを申請者(別表1の2又は3に掲げる事業の場合は使用者)又はその関連会社が製造している場合には、別表3により利益等を排除した額。
- (※2) ロボット導入代金見積書(第1号様式別紙2)の(B)の額。
- (※3) ロボット導入代金見積書(第1号様式別紙2)の(C)の額。ただし、別表1の3に掲げる事業の場合は補助対象外。
- (※4) 介護保険と併用する場合、最終的な補助金の額の確定は、実績報告書に基づき介護保険給付額を差し引いた補助対象経費をもとに再算定します。

3 事業の着手及び完了の予定日

ア～エの着手予定日のうち最も早い日(※5)と、完了予定日の最も遅い日(※6)に○をしてください。また、その予定日を記入してください。なお、完了予定日は当該年度中(3月末日まで)である必要があります。

事業の着手予定日(※5)	事業の完了予定日(※6)
ア、設置工事の着工日 イ、ロボットの引渡日(納品日) ウ、代金(補助対象経費)支払の完了日 エ、ロボットの購入又は貸与に係る契約を締結した日	ア、設置工事の着工日 イ、ロボットの引渡日(納品日) ウ、代金(補助対象経費)支払の完了日 エ、ロボットの購入又は貸与に係る契約を締結した日
令和●年 ●月 ●日	令和●年 ●月 ●日

「〇月頃」ではなく、見込みで構いませんので、具体的な日付をご記入ください。なお、交付決定後に着手し、年度内に完了する事業が補助対象です。申請から交付決定まで概ね1か月程度要します。

4 使用の概要（別表1の2又は3に掲げる事業の場合は貸与先について記載）

使用者の氏名(法人等の場合は名称)	神奈川 花子	実際にロボットを使用する施設名(個人の場合は使用者名)や住所を記入してください。施設内の居室等で使用する場合は、部屋番号も含めるなど、可能な限り詳細に記載してください。
使用者の住所(法人等の場合は所在地)	㈱川崎介護が運営する 川崎リハビリセンター内302号室 川崎市宮前区1丁目11番地	
使用場所・場面及び目的	例1)居室内及び娯楽スペースにおいて、〇〇の回復補助を目的としたリハビリの一助として使用。 例2)〇〇市内の〇〇社工場において施設内のコンクリートの壁面点検のため使用。	どのような目的で、だれがどのように使用するか、可能な限り具体的に記入してください。
使用頻度(使用時間、使用時期、期間など)	例1)週3回、1回30～40分程度使用。 例2)〇月上旬～〇月下旬まで、毎日1日1時間程度使用。	
期待する導入効果	例1)リハビリにロボットを活用することで、職員の負担軽減、ケアの質向上に繋がたい。 例2)点検にロボットを利用することで、作業の効率化を図りたい。	

＜アンケート欄：該当する項目に○をつけてください。＞

本補助金についてどこで知りましたか。	・神奈川県ホームページ ・さがみロボット産業特区メールマガジン ・ロボット実装促進センターからの案内 ・製造元（メーカー）からの紹介 ・販売代理店からの紹介	・さがみロボット産業特区のホームページ ・「バーチャルロボットタウンさがみ」ウェブサイト ・ロボット企業交流拠点の体験・案内 ・チラシ(配架場所：) ・その他()
今回導入するロボットの他に、導入を検討した(している)ロボットはありますか。	○ある（ロボット名： △△ロボット ） ・ない	